

SAMUS Suit's Sensory System OFF

S40

捕食生物の罠にかかってしまい
スーツの感覚遮断機能をONにして
救助を待っていたら
いつのまにか身体をとんでもない
ことにされていたサムス



SAMUS Suit's Sensory System OFF

S40

捕食生物の罠にかかってしまい
スーツの感覚遮断機能をONにして
救助を待っていたら
いつのまにか身体をとんでもない
ことにされていたサムス

状態：淫毒侵食率100%
乳房/乳首：肥大化
クツトクヌ：ふたなり化
膣内射精回数：64回
尻穴射精回数：50回
絶頂回数：128回

SAMUS Suit's Sensory System OFF

S40

捕食生物の罠にかかってしまい
スーツの感覚遮断機能をONにして
救助を待っていたら
いつのまにか身体をとんでもない
ことにされていたサ姆斯

私はサムス・アラン
フリーの賞金稼ぎだ

本来ならば今は
活動休止状態
だったのだが――

銀河連邦からの強い
要望で半ば強制的に
ミッションに参加
することになった……

依頼内容は
ある惑星の調査と
報告をすること――
しかし……

スターシップから
降り立った途端
惑星の原生生物の
襲撃に遭遇し交戦……

幸先が悪いが
仕方がない……

ここで起こったことは
すべて銀河連邦に
仔細に伝達する契約に
なっている

撃退には成功したが
エネルギーの消耗も激しく
ワードスーツが
解除されてしまった……

こちら
サムス・アラン

定時報告――
惑星に到着した
直後に――

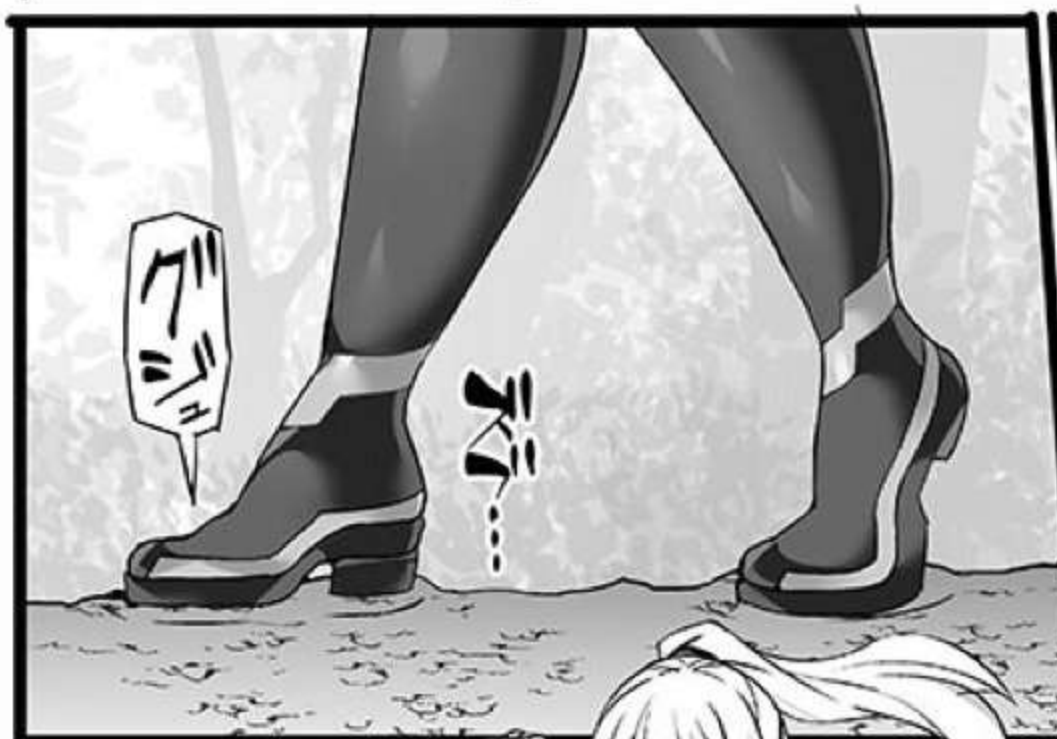
なるほど：
状況は把握した

現状のインナースーツ
状態でも出来る限り
調査を進めてくれ

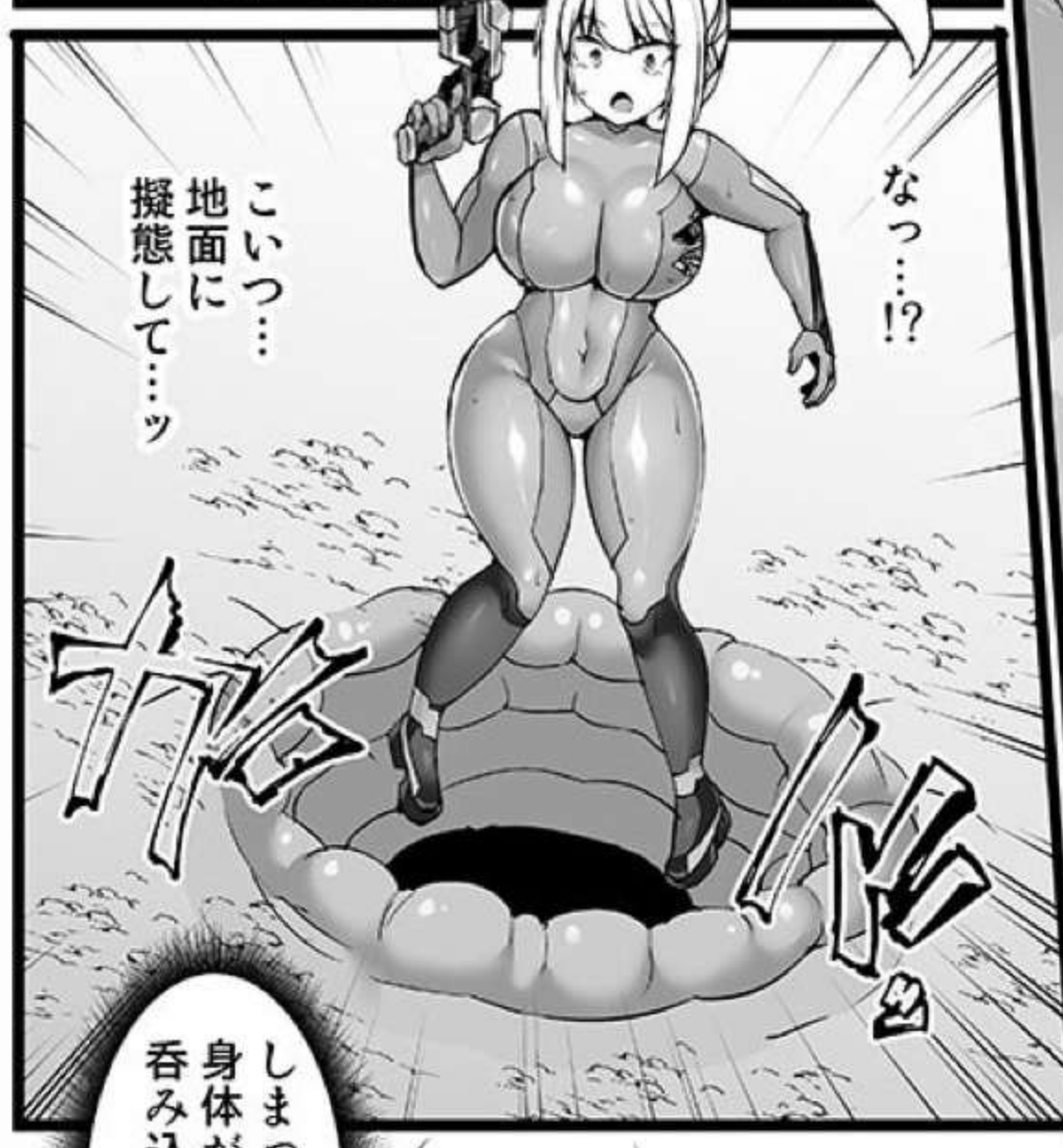
了解

周囲に警戒しつつ
調査を進める

くれくれも
気をつけてな



グ
グ
グ



なっ...!?

こいつ...
地面に
擬態して...ッ

しまっ—
身体が
呑み込まれるッ



!?



この辺りは特に
危険はないようだが...

湿度が高く
ジメジメ
しているな...

三
と...

三
と...



現時点で害はないが
脱出は難しそうだ…

中は空間があつて
ある程度は自由に
動かせるが…

滑って…
踏ん張りが
効かないッ…



なんとか
腕で止まったが…

不覚…

ギ

ギ



どうしたサムス
応答せよ

ああ…実は…
未知の擬態生物に
捕らわれて
しまった…

データがあつたぞ
この生物は飲み込んだ
獲物に微弱な刺激を
与え続けることで

感覚を狂わせ
衰弱させる性質を
持っているようだ…

なるほど…確かに
先程から身体を
触れられていて
非常に不快だ…

だが力は弱く
獲物に抵抗力が残って
いるうちは引きずり
込めないのだ

完全に嚙下
されなければ
生命の危険はない

ギ

ギ

インナースーツの
感覚遮断機能を
ONにしてくれ

ズル

不要な消耗を避け
回復に専念
できるはずだ

了解——
感覚遮断機能を
展開する

よし……
不快な感触が
全くなくなった……

しばらくは
そのままの状態
で
パワードスーツの
回復を待ってくれ

それまで何かあれば
逐一報告すること

そのあいだキミに
問題が起きないか
こちらでも監視する

ああ……
よろしく頼む

では——
通信を終了する
健闘を祈る

ゴ

ズル

ズル

ズル

銀河連邦所有
某所宇宙コロニー内

さて皆さん：
大変おまたせ
いたしました！

本日のメインイベント
サムス・アランの
肉体改造ショー♡

SAMUS ARAN ♀
HUMAN

彼女は銀河連邦が
依頼したウソの任務で
ある惑星に赴いており

すでに我々が独自に
開発した催淫生物の
罠にハマっております

その様子を超小型
ドローンで撮影
しております♡

WE
P

それでは——
銀河一の賞金稼ぎと
謳われた彼女の痴態…

存分に
御覧ください♡

おおっ
映った映った

おほー♡
ド迫力♡

ヌル

ヌル

やっぱりサムスと
言えばこのバスト
ですなあ

画面から
ハミ出しそうですよ♡

ブルン

ブルン

いやいや
ムツチムチの尻も
捨てがたいですぞ

むむう
確かに

この身体で
賞金稼ぎは
無理でしょ♡

はち切れそうな
デカケツも見事

チメ

チメ

ムキッ

ムキッ

スーツには現在の装着者の状態を数値化する機能も備わってますので併せてお楽しみ下さい

装着者：サムス・アラン
状態：正常
バストサイズ：95cm
ヒップサイズ：99cm
スーツプロテクト：150%
淫毒汚染度：001%
全身感度：000%

伸縮性のある
びっちり素材が
身体にフィットして…

澄ました顔で
何を考えて
いるんですかね？

このボディラインが
くっきりのエロスーツ…

いつ見ても
堪りませんな♡

それではここで
彼女と通信して
みましょう

このために銀河連邦に
大量の裏金を流して
いる甲斐がありますよ♡

ズバズバ



ああ…問題ない
しかし…フフ

どうした？



調子に乗って
ますねー♡

イキまくって
痙攣してますよ♡

装着者：サムス・アラン
状態：膨乳化/連続絶頂
バストサイズ：112cm
ヒップサイズ：105cm
スーツプロテクト：110%
淫毒汚染度：035%
絶頂回数：003回



こちらサムス
何かあったのか？

「何も無い」よ…
ただ経過はどんな
感じかと思ってね



脚開かされて
ガニ股にされてるの
無様すぎ♡

おっ♡
もうイった♡

装着者：サムス・アラン
状態：感度上昇中
バストサイズ：95cm
ヒップサイズ：99cm
スーツプロテクト：150%
淫毒汚染度：005%
絶頂回数：001回



ああ：
そうだな♡

少し可哀想な
感じがしてな



いや：コイツは
私に何をしても
効かないとは知らずに

今も一生懸命
刺激を加え続けて
いるのかと思うと



可哀想
なのは
君の方だよ♡

無様なアクメ姿
見られているとも
知らずに：♡



スケベな身体に
なりましたな♡

澄ました顔と
下品な身体の
ギャップが最高ですな

装着者：サムス・アラン
状態：乳首巨大化/腔内射精
バストサイズ：150cm
ヒップサイズ：120cm
スーツプロテクト：033%
淫毒汚染度：089%
絶頂回数：010回

装着者：サムス・アラン
状態：膨乳中/挿入中
バストサイズ：131cm
ヒップサイズ：111cm
スーツプロテクト：078%
淫毒汚染度：068%
絶頂回数：006回

それにしても
自業自得とはいえ

こうして何も
起こらないのでは
退屈だな

今度は尻を
狙われてますよ♡

あーっ
あーっ
あーっ

起こって
るぞ♡

見事なマン染み
作っちゃって♡

おーい
気づけー♡

ガッ
ガッ
ガッ

ぬぬぬ

ははは
ケツに入れられて
またイった♡

アッ
アッ
アッ

ぬぼん

装着者：サムス・アラン
状態：膨乳中/アナル調教中
バストサイズ：152cm
ヒップサイズ：121cm
スーツプロテクト：008%
淫毒汚染度：101%
絶頂回数：013回

あれから数分：
これでケツイキ
何回目ですか？

私の予想では
25回はイってるね♡

そうですか？
私は30回は
イッてると思
いますけどねえ♡

ほお：
賭けますか？

いいですな
どれ：
答え合わせしようか

サムス
異常はないか？

ああ何も
問題ない

マンコも触られて
ないクセに
イキまくってますし

こんなの当てられる
人いませんよ(笑)

って…もう50回以上
ケツでアクメキメてる
じゃないですか

いやはやまさか
サムスがこんな
淫乱スケベ女だとは…

装着者：サムス・アラン
状態：クリ勃起/ザコアナル化
バストサイズ：153cm
ヒップサイズ：122cm
スーツプロテクト：000%
淫毒汚染度：182%
絶頂回数：051回



心配はいらない

ぐんぐん

ぬるっ



経過はいたって
順調だ

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐん



うわっ
酷い音♡

ケツから粘液
出しながら
またイってるし♡

ぐんぐん

ぐんぐん

装着者：サムス・アラン
状態：粘液排泄絶頂中
アナル感度：+128%
スーツプロテクト：-037%
淫毒汚染度：253%
マンコ絶頂回数：055回
アナル絶頂回数：025回



それより
つきっきりで
通信していて
いいのか？

キミに何か
問題があつては
いけないのでね

そうか
感謝する

なに：
これも仕事だ
構わないさ

ふたなりとは
いい趣味を
してますなあ♡

ほお
これはこれは

こんなカラダに
されちゃってるのに
「感謝する」だって♡

タマデツツツカ♡
クールな態度で
性欲強いのかな？

装着者：サムス・アラン
状態：ふたなり(タマあり)
チンポ感度：+010%
キンタマ感度：+015%
スーツプロテクト：-050%
淫毒汚染度：392%
マンコ絶頂回数：056回
アナル絶頂回数：027回



ああ…
大丈夫だ

何も
問題はない

心配せずに
報告を待って
いてくれ

おん、

おん

おん

おん



エネルギーさえ
戻ればすぐに
退治する

今頃順調に
溜まっている
ハズだ

チンポ叩かれて
イキまくってますよ♡

ケツ穴ヒクつかせて
マン汁まで
派手に飛ばして…♡

装着者：サムス・アラン
 状態：ザーメンチャージ中
 チンポ感度：+054%
 キンタマ感度：+061%
 エネルギー残量：002%
 淫毒汚染度：590%
 チンポ絶頂回数：000回
 マンコ絶頂回数：063回
 アナル絶頂回数：036回

デカタマにザー汁は
順調にチャージしてる
みたいですね♡

おん

おん

おん

おん

おん

おん



さて…それでは
みなさん
お待ちかね

感覚遮断機能を
オフにしてみたいと
思います



おいしいよ
ですな♡

待って
ました♡

やっぱり
これがなくては♡

あのサムスが
どのように淫れるか
楽しみじゃよ♡



3…2…

それにしても
趣味の悪い
生き物だな…

1…

私に手を
出したことを
後悔…させ…て

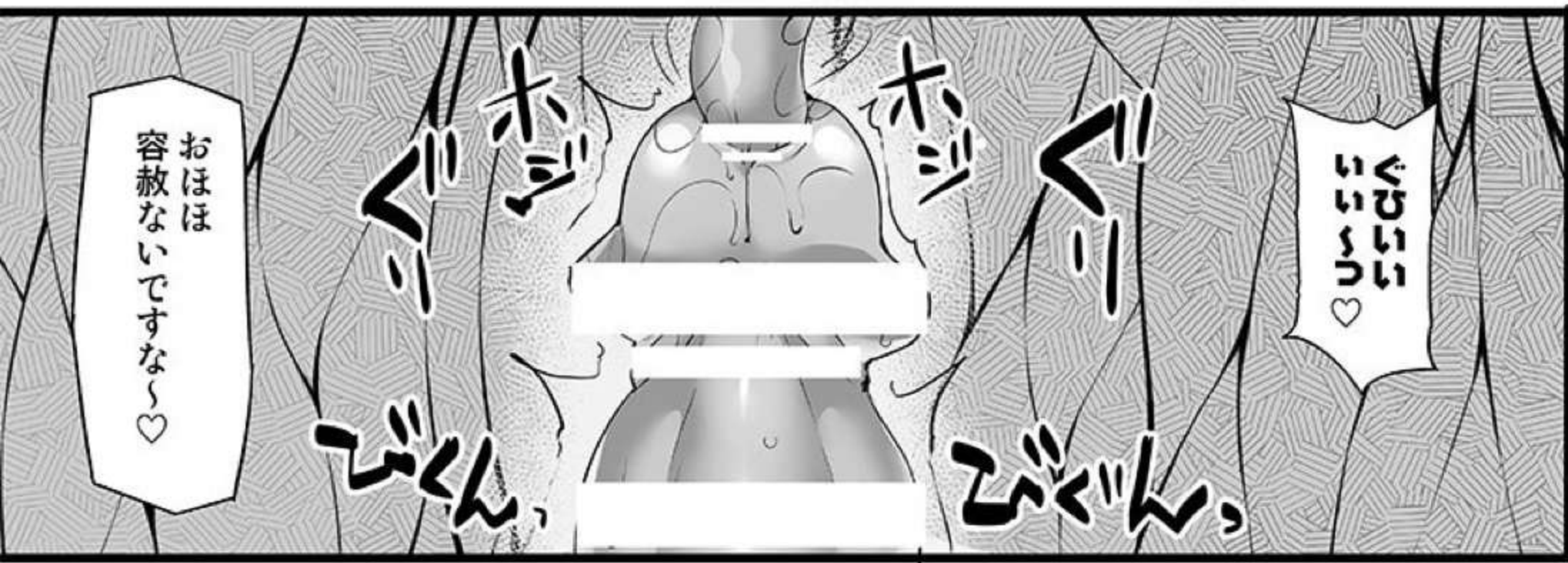
0…

クエッ
グッ



なっ...なんっ...
いったい...
なに...がああっ♡

この瞬間は
いつもでも
いいですね♡



いっひいっひいっ♡

おほほ
容赦ないですな♡



ほほ...
透き通った綺麗な
声をしとったのに♡

クールさの欠片もない
低濁音の汚い
オホ声最高ですな♡

どうした？サムス
なにがあった

かつ身体が
へんじ…おかし
ただのおかし♡

おし♡パ
香りが変わった身体が
弄ばれた♡

乳首♡ポッキした
乳首を左にいらっ
ペチペチ♡印がわ
し♡

おかしいとは…？
自分が今どういう
状況にあるのか
具体的に報告したまえ

キミには契約上
報告の義務がある
可能な限り詳しく
説明するんだ

乳首ピンタされ
ながら
イってますよ♡

マンマン♡マン
浅いとマン
クチククチク
イジラれて…♡

チンポイウ
止まらな…♡

オホッ♡

うん♡

更にマンコ
ホジられて
追いザーメン♡

装着者：サムス・アラン
状態：連続アクメ調教済
チンポ感度：+999%
キンタマ感度：+999%
ザーメン生産量：+999%
淫毒汚染度：999%
チンポ絶頂回数：056回
マンコ絶頂回数：117回
アナル絶頂回数：072回

おっおっおっおっおっ
ケツから触手の
圓形ザーメンJENJEN♡

乳首からせ
ミルク噴く♡

うわスツゲ♡
サムスの本気仰け反り
脚ピンアクメ♡

サコ触手に全身
アクメ調教
せわれミシ♡

ザーメンゼリー
排泄しながらチンポ
イクリリリリ♡

エッロ♡

サムスくんが
こんなチンポ狂い
だったとは
幻滅だなあ♡



【バウンティハンターサムス：惑星ヌメルにて快楽に墮つ】

作 シリウス

バウンティハンター、サムス・アラン。銀河に迫る数々の危機を救って来た、その名を知らない者は居ない賞金稼ぎ。そんな彼女は今、救難信号の痕跡を辿り惑星【ヌメル】へとやってきていた。

「ここがヌメルか。噂通りありとあらゆる場所がヌメヌメしている…。特に足元には気を付けないと。」

この惑星は特殊なガスの影響もあり、雨の代わりに粘膜成分を含んだ液体が常に降り注いでおり、地面や岩がスライムのような物に覆われている。更にそれだけでは無く、この液体には金属を溶かす酸の成分が確認されている。その為…。

「パワードスーツを着る事が出来ればよかったのだが…仕方がないな。」

本来纏っている鳥人族のパワードスーツを脱ぎ、水色に包まれたスーツを着用している。突き出た胸、引き締まりの良いお尻、そして鍛えられた腕や太股が粘膜を含んだ液体の影響もあり、光沢を放つように光っている。その結果、身体の隅々までに張り付くスーツの質感が更に引き立ち、見事な色気を引き出していた。

「しかし何処から救難信号が…ッ!?しまっ…!」

ズルッ!

足元には最新の注意を払っていた、しかし予想以上にネバネバとした液体はサムスの足を滑らせるには十分。バランスを崩し、前のめりの姿勢で倒れかけてしまう。サムスは咄嗟に腕を前へ伸ばし、受け身を取ろうとする。しかし…。

クバァァ…♡

「なっ!?アレは…ッ!?」

突然、地面に穴が開き、倒れようとするサムスを呑み込もうとする。彼女が地面だと思っていた場所は巨大な植物の上、通った者を捕食する為の擬態だ。何とか身体を逸らそうと試みるも既に遅く…。

バクッ!!

ズムズムッ♡

「ンググッ…!おうづ♡」

サムスの身体は飲み込まれ、巨大植物の餌となってしまう。幸いな事に身体を逸らした事もあり、上半身だけが飲み込まれただけですんだ。植物の体内でどうにか両手で身体を支える事ができ、これ以上飲み込まれるのだけは阻止出来た。しかし、危機的状况には変わらない。

「まさか畏か…ッ♡しかも動けないッ♡」

ギチッ…♡ギチッ…♡

上半身だけが呑まれた、つまり外から見れば今のサムスは無防備も良い所。何にも当たたる事の無い両足をジタバタと藻掻かせ、無様な姿を見せびらかしている状態。降り注ぐ粘膜交じりの雨はサムスの股間を湿らせ、ピッチリと張り付くスーツにちよこんとした突起物……クリトリスを浮かび上がらせてしまう。それはサムスがこの植物によって快楽を受けている証拠だった。

ズムツ♡ズムツ♡ムギユギユ

『んおおほお♡んんお♡何だツ♡これはっ♡からっ♡身体がおかし
くう♡♡』

サムスを呑み込む為、植物は全力の吸引で吸い込む。当然脱出を試みるも、全身を舐め回す様な快楽を与えられ思う様に力が入らず、他人にはとても聞かせられないはしたない声を挙げてしまう。特殊なガスを受けて成長したこの植物の体内には媚薬を何倍にも濃くした液体が流れており、植物はそれを使って捕食した得物の心を溶かす。無論、強靱な戦士であるサムスも例外無く…。

ズルツ♡ズルツ♡ギチギチツ♡

『たづ♡耐えづ♡耐えられにゃいっづ♡気持ちいいづ♡上半身が敏感にな
ってりゅううテ♡♡まずいツ♡このままではっづ♡♡』

飲み込まれゆく身体。そして植物の体内の肉壁に胸が擦り、これまた吸い付く様に張り付くスーツに二つの突起物……乳首が浮かび上がっていた。ぶつくりと膨れ上がる乳首は親指ほどの太さ、それだけサムスが快楽を受

け入れ、植物に心を溶かされている証だ。あと数分もあれば絶頂を免れず、その反動で力む事も出来なくなり捕食されてしまうだろう。

このままではいけない、そう考えたサムスは最終手段としてスーツに存在するとある機能を口にする。

『くづ…！仕方がない…ツ♡【感覚遮断モード】！』

その言葉を口にした途端、サムスを覆っていた快楽の波が嘘の様に無くなった。感覚遮断モード、本来は痛みを無視して突撃する為の機能でありとあらゆる感覚が遮断される。おかげで今のサムスは触られている事も体温すら感じない、全てを考えなくて済む状態となっている。

『ふう…。快楽からは免れたが、これからどうしたものか…。情けない恰好だろうが、体力が回復するのを待ってから考えるか…。』

だがそれまでの快楽で擦り減った体力はそのまま、サムスは自身の体力が回復するのを待つ事にした。しかし…。

ニユルツ♡

ズブブツ!!

植物は待ってくれない、ガニ股大開きとなっているサムスの下半身は植物達にとって絶好の繁殖穴。触手をドリルのようにグリグリと、子宮まで届く勢いで侵入を開始、スーツ越しの高速ピストンが行われる。

ズボズボズボツ!!

グブグブツ♡ギチチツ!

『しかし厄介な植物だ。体内の液体で理性を溶かすとは…。この機能には感謝しなければな。』

危機を乗り越えた様な事を言うサムスであったが、寧ろ状況は悪化。スーツが破ければ機能も停止するが彼女のスーツは強靱な素材で出来ている事もあり、自らの股に挿入されている事に気がつく事も出来ない。ピッチリマンコに啜え込む感触も、子宮を突かれ悶絶する様な刺激も届く事は無い。

ズブッ！ズブッ！ズブッ！

ドブブッ！びゅるるっ♡

そして触手の先端から白く濁った液体がサムスのスーツ越しに膣内出し、股間から零れ溢れる。マーキングのつもりか苗床にするつもりなのか、注ぎ続ける液体はサムスの子宮を満たし、彼女の表面にも影響を与えていく。

ポコッ♡ポコッ♡

『しかし感覚が無いのは不便だな。お腹付近が当たっているのかが分からないと体内の様子が探りにくい…。』

注がれる液体によってお腹が膨張、まるで子を孕んだかのようなポテ腹になっていく。どぶっ、どぶっとな音が鳴る度にお腹が膨れ、スーツも膨張、出臍が浮かび上がる程の大きさとなっていく。しかし植物の体内は暗い事と感覚が無い事が災いし、今のサムスは自分に起こっている異変に気が付く事が出来ない。

そして植物もサムスが抵抗をしない事を良い事に、更なる責めを開始す

る。

ツブッ！

一本の触手が勃起するクリトリスにブスリ、何かの液体を注入した。すると…。

ポロンッ！

ビクッ♡ビクッ♡

サムスの股間がヒクヒクと痙攣したかと思うとそれは姿を現した。握り拳サイズのぶっくり率丸に腕ほどの太さのある全長、キノコの傘を思わせる反りっぷりを見せる龟头。スーツの食い込みも相まってコンドームを張り付けられている様な、なんと無様で情けない勃起チンポだろうか。

パクッ♡ズルズルッ♡じゅぶぶっ♡

じゅるるっ♡ズビビィィ♡

ドブッ♡ドブッ♡ドブッ♡

そんな無様チンポを、触手は飲み物でも飲み干す様な卑猥な音を立てながらバキューム。即席で作られたザーメンを尿道から捻りだし、サムスの代わりに食し始めた。バキバキに膨れたピッチリ勃起チンポから溢れ出すザーメンはまさにご馳走、一滴も逃さない様に触手の吸引も根本から持つていけるほど激しい物に。逆さ埋めふたなりガニ股射精姿というあまりにも無様で戦士失格の哀れな恰好、そんな目にあっているとも知らないサムス。

『よし、体力も回復した。これなら体内からも脱出出来そうだ。っと、そろそろ感覚遮断を解除しないと。長時間の使用は文字通り感覚がおかしくなってしまうからな。【感覚遮断モード】解除！』

下半身が凌辱されているとも知らず、元の感覚を取り戻す為、スーツに解除を命令した。

『……ンブエア!?!?オオオオオオオオ♡♡♡ンギギイイイイ♡♡何づづ何がおおおおお♡♡♡』

ピクピクンツ!!ぶっしゅううう♡♡♡

その瞬間、サムスは今までに体感した事の無い絶頂の渦に飲み込まれた。胸からは母乳が、股からは愛液が、生やされたふたなりチンポからは更なるザーメンが、液体という液体がサムスの身体から吹き上がる。植物に啜え込まれた時の10倍、100倍はあろうかと言う気持ち良さ。呂律が回らなくなり自分が何を口にしたのか分からなくなる、ただ一つ分かったのは…。

『イグイグツツ♡♡♡アクメしてるうううテテテ♡♡♡♡♡』

理解不能な絶頂感、それだけだった。抵抗する事も馬鹿馬鹿しく思う程の幸福感、それがサムスを包み込む。

『ンオツンオオオ♡♡♡股間から何か出てりゅツ♡熱いのが何かツツ♡胸からもビュービュー止まらにゃい♡♡♡イッグウツツ♡♡♡』

ぶしゅぶしゅ♡♡♡

自らの母乳と植物の液体が混ざり、甘ったるい匂いがサムスの脳を更に狂わす。イケばイク程に気持ちの高鳴りが抑えられない、そう思うとサムスは自然と身体を支える両手を離していた。宇宙最強の戦士は快楽に負けた。

ムギユムギユ♡♡♡

ゴクンツ♡

『もっとお♡もっと舐めまわしてえ♡♡全身ズルズル飲み込んでっ♡イカせてっつづ♡♡スオツフオオ♡♡スオオウツ♡溶かされるぐらいに気持ちいい♡♡♡♡♡ヤベツツ♡もっと味わいたい♡♡誰かツツ♡来てっ♡』

植物の体内から聞こえる獣の様な呻き声、屈強な戦士の断末魔が途絶える直前に発せられた救難信号。ミイラ取りがミイラに、同じく感覚遮断スーツを着た物が訪れ同じ目に遭うだろう。この惑星を最後に、多くのパウンティハンターが行方不明になったのは有名だ。その中の一人にサムス・アランの名もあるのだから…。

奥付

発行サークル：Stapspats 執筆：翡翠石(ヒスイ)

誌名：S4O -SAMUS Suit's Sensory System OFF -

発行日：2022/12/31 印刷所：ねこのしっぽ

PixivID：1473639 TwitterID：hisui_spats

E-mail：hisuispats@gmail.com

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。

無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。

※本誌は個人による同人誌です。

STAPSPATS